

○嶋崎委員長 それでは、まず日程1、陳情審査です。継続審査になっている陳情として、送付3-7、沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める陳情でございますけれども、特に前回からの流れを含めて変化があれば、執行機関のほうから情報提供を頂きたいと思っておりますけど、いかがですか。

○中田総務課長 恐れ入りますが、特にございません。

○嶋崎委員長 はい。執行機関のほうは特にないということでございますけれども、委員の皆さんから何かあれば、どうぞ。

○木村委員 ちょっと取扱いにも関わってしまうかもしれないんですけど、ちょっとよろしいですか。

○嶋崎委員長 はい。

○木村委員 実は沖縄の沖縄戦の遺骨収集をされているボランティアの方が、何か全国全ての地方議会に要請書を出すということで取り組んでいるようでございます。また、この問題はなかなか執行機関から資料を提出しにくいというお話が前回ございました。仄聞するに陳情者の方がいろいろ資料も準備されているということを知っておりますので、できましたら今回ちょっと継続にさせていただいて、次回、できれば定例会の中でまた、資料を基にまたご審議いただけたらというふうに思いますけれども、一つご配慮願えればと思います。

○嶋崎委員長 はい。今、木村委員からそういうお話がございました。ほかに何かあれば、伺いますけど。

○永田委員 継続であれば、それで構わないんですけども、私なりに情報収集したところ、沖縄の沿岸部の開発事業をこれまで数限りなく行われてきて、そしてこれまでご遺骨の収集に差し支えるということで、反対されたということはなかったというふうに聞いています。今回このような陳情は、遺骨の収集と基地の反対ということが結びついているので、それぞれは切り分けて考えるべきではないかと私は考えまして、今後の審査の参考になればと思って発言させていただきました。

以上です。

○嶋崎委員長 はい。いずれにしても、今日のところでというのは、今、木村委員からも、そういうボランティアの方が情報収集して、また情報提供し、そして各自治体に再度陳情なりそういう動きがあるということもありますので、いかがでしょう、今日のところは継続にさせていただいて、第3回定例会の場でまた進捗等々あれば、そこで情報を皆さんから頂いて審議をします。それで、できれば3定のところできちっと整理させていただければありがたいかなと思うんですけども、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 はい。それでは、この陳情については継続の取扱いとさせていただきます。陳情審査を終了いたします。